

英語科学習指導案

平成 16 年 10 月 26 日(火) 第 6 校時
 2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
 指導者 黛 ゆかり
 Andy Fosset
 第 1 時間目

(1) 本時のねらい

- ・ 「～すること」と目的語として使われる動名詞の表現に慣れる。
- ・ 英字新聞を話題とした会話を読み取り、適切に音読することができる。

(2) 準備

教科書、ワークシート、フラッシュカード、ピクチャーカード、センテンスカード、CD リピーター

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ	2 分	英語でのあいさつの後、既習事項を用いた質問を全員の生徒が答えられるようにリズムカルに行う。	
センテンスカード、ワークシートで「～すること」と目的語となる動名詞のつかい方を学習する。	20 分	生徒に身近な動名詞の例文を用いて、意味を推測して答えられるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的語となるものだけでなく、主語になるものも補助的に提示する。 ・ ポイントをおさえるのにワークシートで説明し、机間指導しながら問題を解く支援をする。残りは課題とすることを伝える。 	例文やワークシートから動名詞を理解し、動名詞を用いて簡単な英文を作ることができる。【理解】(観察、ワークシート)
本文の内容を学習する。	20 分	ピクチャーカード、単語のフラッシュカードを用いながら、本文の内容理解を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新出単語の発音練習を丁寧に行い、本文の音読に自信がもてるようにする。 	英字新聞が話題となっている本文の内容を理解し、正しく音読することができる。【理解】【表現】(観察)
音読発表と本時のまとめをする。	8 分	○ロールプレイでの発表がしやすい雰囲気作りに努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を通して本文の意味を再確認し、アメリカの新聞事情について補足説明し、文化にも興味をもてるようにする。 	

英語科学習指導案

平成 16 年 10 月 27 日 (水) 第 1 校時
 2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
 指導者 黛 ゆかり
 Andy Fosset
 第 2 時間目

(1) 本時のねらい

- ・ 第 4 文型 (主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語) の文を理解できる。
- ・ サンタクロースを話題にした少女の話に興味をもち、適切に音読することができる。

(2) 準備

教科書、ワークシート、フラッシュカード、ピクチャーカード、センテンスカード、
CD リピーター

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目 (評価方法)
あいさつ & 単語テストを行う。	7 分	英語でのあいさつの後、既習事項を用いた質問を全員の生徒が答えられるようにリズムカルに行う。 前時で学習した単語と基本本文のテストを行い、答合わせをしながら定着を図る。	
センテンスカード、ワークシートで第 4 文型の文を学習する。	15 分	目的語を 2 つとる動詞を提示し、生徒に身近な第 4 文型の例文を用いて、意味を推測して答えられるようにする。 ・ ポイントをおさえるのにワークシートで説明し、机間指導しながら問題を解く。残りは課題とすることを伝える。 ・ 直接目的語を前に置き前置詞を用いた第 3 文型と比較することで理解の定着を図る。	例文やワークシートから第 4 文型を理解し、第 4 文型を用いて簡単な英文を作ることができる。【理解】(観察、ワークシート)
本文の内容を学習する。	20 分	○ピクチャーカード、単語のフラッシュカードを用いながら、本文の内容理解を支援する。 ・ 新出単語の発音練習を丁寧に行い、本文の音読に自信がもてるようにする。	サンタクロースが話題となっている本文の内容を理解し、正しく音読することができる。【理解】【表現】(観察)
音読発表と本時のまとめをする。	8 分	○ロールプレイでの発表がしやすい雰囲気作りに努める。 ・ 発表を通して本文の意味を再確認し、本文にある実話を紹介することでクリスマスやサンタクロースに興味をもてるようにする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 2 日 (火) 第 6 校時
 2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
 指導者 黛 ゆかり
 Andy Fosset
 第 3 時間目

(1) 本時のねらい

- ・ 第 2 文型 (主語 + 動詞 + 補語) の文を理解できる。
- ・ 「サンタクロースはいるか」の問いに対する新聞社の返事を理解し自分なりの考えや意見をもち、適切に音読することができる。

(2) 準備

教科書、ワークシート、フラッシュカード、ピクチャーカード、センテンスカード、CD リピーター

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目 (評価方法)
あいさつ & 単語テストを行う。	7 分	英語でのあいさつの後、既習事項を用いた質問を全員の生徒が答えられるようにリズムカルに行う。 前時で学習した単語と基本文のテストを行い、答合わせをしながら定着を図る。	
センテンスカード、ワークシートで第 2 文型の文を学習する。	15 分	生徒に身近な第 2 文型の例文を用いて、意味を想像して答えられるようにする。 ・ ポイントをおさえるのにワークシートで説明し、机間指導しながら問題を解く。残りは課題とすることを伝える。 ・ 補語が名詞や形容詞となることを伝え、目的語との違いを提示することで理解の定着を図る。	例文やワークシートから第 2 文型を理解し、第 2 文型を用いて簡単な英文を作ることができる。【理解】(観察、ワークシート)
本文の内容を学習する。	20 分	○ピクチャーカード、単語のフラッシュカードを用いながら、本文の内容理解を支援する。 ・ 新出単語の発音練習を丁寧に行い、本文の音読に自信がもてるようにする。	「サンタクロースはいるの」という女の子からの手紙に答えた新聞社についての本文の内容を理解し、正しく音読することができる。【理解】【表現】(観察)
音読発表と本時のまとめをする。	8 分	○発表がしやすい雰囲気作りに努める。 ・ 発表を通して本文の意味を再確認し、本文にある実話について、一人一人が自分の考えや意見をもてるような投げ掛けをする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 4 日 (木) 第 5 校時
 2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
 指導者 黛 ゆかり
 Andy Fosset
 第 4 時間目

(1) 本時のねらい

- ・ 本単元の本文の内容について正確に理解できる。
- ・ 動名詞、第 2、第 4 文型の文や便利な会話表現を理解し、適切に活用することができる。

(2) 準備

教科書、フラッシュカード、CD リピーター、絵本

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目 (評価方法)
あいさつ & 単語テストをする。	7 分	英語でのあいさつの後、既習事項を用いた質問を全員の生徒が答えられるようにリズムカルに行う。 前時で学習した単語と基本文のテストを行い、答合わせをしながら定着を図る。	
教科書 p58 , 59 を学習する。	30 分	動名詞、第 2、第 4 文型を復習しながら、補足説明をする。 ・ フラッシュカードを用いて新出単語の発音練習を丁寧に行い音読に生かせるようにする。 ・ 本文に関するリスニングテストをする前に音読をして内容を再度確認できるようにする。 ・ 相手に許可を求める表現とお礼を言うときの表現を含めながらペアで会話練習できるようにする。	動名詞、第 2、第 4 文型を含む文や、許可を求めたりお礼を言ったりする表現を理解し、適切に活用することができる。【理解】【表現】(観察)
クリスマスについてお互いの考えや意見を発表する。	10 分	本文を読んだ感想やクリスマスについての自分の思いを発表しやすいように、実話についての話をする。	本文の内容について、自分の考えや意見をもち、発表することができる。【関心・意欲・態度】(観察)
本時のまとめをする。	3 分	本時の学習内容を確認し次時の予告をする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 9 日 (火) 第 1 校時
2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
指導者 黛 ゆかり
Andy Fosset
第 5 時間目

(1) 本時のねらい

クリスマスについてグループでスピーチするという学習の目的を知り、スピーチ原稿の基となる英文作りを班員と積極的に行うことができる。

(2) 準備

教科書、ワークシート、英文資料、スピーチ表現集、単語提示用カード、厚紙、のり、英文カード用の紙

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ&スピーチ作りについての学習の見通しを立てる。	7分	○英語でのあいさつの後、クリスマスについてグループでスピーチ作りをすることを伝え、学習への見通しを立て、興味をもてるようにする。 ・ JTE と ALT がともにクリスマスについての思い出や考え、意見を発表し、クリスマスを身近に感じられるようにする。	クリスマスの話を熱心に聞いている。 【関心・意欲・態度】 (観察)
クリスマスからイメージする単語をカードに書き、黒板に貼り、全員でグループ作りをする。	15分	○先にワークシートに個人で記入し、全体の前でも答えやすいようにする。 ・ 「クリスマスといえば！」に当てはまる単語を自由な雰囲気の中で書けるようにする。 ・ 英文資料を配布し、クリスマスについての自分の意見や、スピーチで伝えたいことを考えることでスピーチ作りの準備ができるようにする。 ○黒板に貼った単語を見ながら、近いものをグループにするように助言する。 ・ 数名ずつが交代で前に出て、グループ作りをすることで、全員が考えられるようにする。	クリスマスについて自分の考えをもち、黒板のカードを見て進んでグループにしようとしている。【関心・意欲・態度】(観察、ワークシート)
グループでスピーチの原稿作りをする。	25分	○英文資料やスピーチ表現集を参考にして、個々に書きたいことを一文ずつ英文カードに書き、グループ内で寄せ集め、まとまりのあるスピーチ原稿にしていく。 ・ 英文が困難な生徒はカードの裏に日本語で書いても良いことを伝え、できるだけたくさんのカード作りができるようにする。 ・ 英文の組み立てや言回しを苦手とする生徒には机間指導していく。 ・ グループ内で集まったカードは段落を考えたり接続詞を用いたりしてまとまりのある文章にして台紙に貼ることを伝える。	資料や表現集を参考にして、できるだけたくさんの英文カードを作ることができる。【言語や文化についての知識・理解】(観察)
本時のまとめをする。	3分	本時の学習内容を確認し次時の予告をする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 9 日 (火) 第 6 校時
 2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
 指導者 黛 ゆかり
 Andy Fosset
 第 6 時間目

(1) 本時のねらい

グループで作ったスピーチ原稿を意味を考えながらスピーチし、互いに良い点や課題に気付き評価することができる。

(2) 準備

スピーチ原稿、アドバイスシート、振り返りシート

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ	5 分	○英語でのあいさつの後、クリスマスの歌を聞き和やかな雰囲気作りに努める。	
スピーチ原稿を見直した後、音読練習する。	20 分	○グループで前回作成したスピーチ原稿を見直し、適宜修正したり付け加えたりして発表の準備ができるようにする。 ・音読練習では棒読みにならないように、区切るところに気を付けることを伝え、机間指導していく。	聞き手にわかりやすいように発音やイントネーションに気を付けて音読練習している。【表現】(観察)
スピーチ発表をする。	15 分	組になるペアを伝え、テーマの異なる者同士がお互いにスピーチし、アドバイスシートを用いて良い点や課題を評価できるようにする。	恥ずかしがらずにスピーチし、相手のスピーチを熱心に聞き適切に評価しようとしている。【関心・意欲・態度】(観察)
本時のまとめをする。	10 分	○振り返りシートを用いて、本時のスピーチの反省をし、良かったところや課題に気付けるようにする。 ・本時の活動について JTE と ALT が特に良かった点についてコメントし、次時の予告をすることでさらに興味付けできるようにする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 10 日(水) 第 1 校時
 2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
 指導者 黛 ゆかり
 Andy Fosset
 第 7 時間目

(1) 本時のねらい

よりよいスピーチ原稿にするためにグループで英文カードを出し合い、付け足したり並べ替えたりしながら原稿を改善することができる。

(2) 準備

スピーチ原稿、アドバイスシート、スピーチ表現集、厚紙、英文カード用の紙、のり、はさみ

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ	5 分	英語でのあいさつの後、クリスマスの歌を聞き和やかな雰囲気作りに努める。	
グループでスピーチの改善をする。	40 分	<p>前回のスピーチで用いたアドバイスシートを持ち寄り、グループで足りなかった点を確認し、より良いスピーチ原稿になるようにさらに英文カードの付足しや並べ替えをするように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JTE と ALT が、前回作成したスピーチ原稿を個々のスクリーンに映し、良かった点やアドバイスを全体に伝える。 ・ 前回のスピーチで良かった点と課題をグループで話し合うことで、より良い原稿作りのヒントとなるようにする。 ・ スピーチ表現集 を配布し、参考にするすることで、スピーチで使われる表現をできるだけ使えるようにする。 ・ 英文カード作成に苦手意識をもっている生徒には言い回しなどを助言をしたりしながら机間指導していく。 ・ 英文カードの付足しや並べ替えにより新しく改善された原稿は厚紙に英文カードを貼って仕上げとすることを伝える。 ・ 時間に余裕のあるグループは仕上がった原稿の音読練習をすることを伝える。 	テーマに合うように英文カードをできるだけたくさん作成し、意欲的に原稿を改善しようとしている。【関心・意欲・態度】(観察)
本時のまとめをする。	5 分	JTE と ALT が本時の活動についてコメントし、次時の予告をすることでイメージをもてるようにする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 11 日 (木) 第 5 校時
2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)
指導者 黛 ゆかり
Andy Fosset
第 8 時間目

(1) 本時のねらい

改善したスピーチ原稿を、伝えたい内容や表現方法に着目しながらお互いにスピーチし、適切に評価することができる。

(2) 準備

スピーチ原稿、アドバイスシート、振り返りシート

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ	5 分	英語でのあいさつの後、クリスマスの歌を聞き和やかな雰囲気作りに努める。	
スピーチ原稿を見直した後、音読練習する。	20 分	聞き手に伝えたいことを伝えるのに、表現方法を工夫するように伝え、ALT と JTE が机間指導していく。 ・ 自分の言いたいことを伝えるのに、声の強弱をついけるなど、感情を表現できるように助言する。 ・ 発音やイントネーションに困難を感じている生徒にはモデルを示しながら、自信をもってスピーチできるようにする。	自分の思いを入れながら音読練習している。【関心・意欲・態度】(観察)
スピーチ発表する。	15 分	スピーチし合うグループを伝え、お互いに発表し伝えたい内容や表現方法に着目して評価し合うことを伝える。 ・ テーマの違う生徒たちが集まったグループでスピーチすることにより、クリスマスについての広い視点もてるようにする。 ・ お互いに自分の伝えたいことが聞き手に伝わるように表現方法を工夫できたかどうか、アドバイスシートを用いて評価できるようにする。	原稿の内容に合わせて自分なりに表現方法を工夫してスピーチし、仲間のスピーチを熱心に聞き、適切に評価することができる。【理解】(観察)
本時のまとめをする。	10 分	振り返りシートを用いて、本時のスピーチの反省をし、伝えたい内容や表現方法について確認できるようにする。 ・ 本時の活動について JTE と ALT が気付いた点についてコメントし、時事の予告をすることで意欲付けできるようにする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 12 日(金) 第 1 校時
2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)

指導者 黛 ゆかり

Andy Fosset

第 9 時間目

(1) 本時のねらい

スピーチのテーマに対する自分の考えや意見、気持ちを明確にし、グループで作成した原稿に再度英文カードを付け足したり並べ替えたりして、自分の思いを入れたスピーチ原稿を作成することができる。

(2) 準備

スピーチ原稿、アドバイスシート、スピーチ表現集、各グループの原稿、厚紙、英文カードの紙、のり、はさみ

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ	5 分	英語でのあいさつした後、クリスマスの歌を聞き和やかな雰囲気作りに努める。	
グループで作成した原稿に、各自が自分の思いを入れられるように英文カードの付足しや並べ替えをしてスピーチ原稿を仕上げる。	25 分	<p>アドバイスシート から課題を見出し、テーマに関して、自分の考えや意見、思いを入れていくように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回スピーチ発表された、違うテーマをもつ他グループの原稿を配布し、自分の思いをより明確にできるようにする。 ・ スピーチ表現集 を配布し英文カード作成のヒントとなるようにする。 ・ 自分の思いを英文カードにするのが困難な生徒には、どんな考えや意見、気持ちであるのかを引き出し、原稿に入れられるように個別対応する。 ・ 英文カードの付足しや並べ替えにより新しくなった原稿は厚紙に貼って仕上げとすることを伝える。 	自分の思いをスピーチ原稿に入れるために、英文カードの付足しや並べ替えをして表現を工夫している。【表現】(観察、原稿)
仕上がったスピーチ原稿を個々に音読練習する。	15 分	<p>自分の思いを入れるために、顔の表情やジェスチャーを用いるなどの工夫をすることや、できるだけ原稿から顔を上げて発表することで聞き手に理解されやすいことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分らしさができるような方法を考えさせるとともに、小道具なども必要に応じて用いてもよいことを伝える。 ・ 自分が作成したスピーチ原稿なので、自分にしかできないような発表ができるように個別指導しながら自信をもてるようにする。 	スピーチ原稿を自分らしく思いをこめて音読練習している。【表現】(観察)
本時のまとめをする。	5 分	本時の活動について JTE と ALT が気付いた点についてコメントし、次時の予告をすることで意欲付けできるようにする。	

英語科学習指導案

平成 16 年 11 月 12 日(金) 第 3 校時
2 年 2 組 D (男子 6 名、女子 7 名 計 13 名)

指導者 黛 ゆかり

Andy Fosset

第 10 時間目

(1) 本時のねらい

自分の思いを込めたスピーチ発表になるように、自分らしく自信をもって発表し、仲間のスピーチを聞き、考えや意見、気持ちに注目して適切に評価することができる。

(2) 準備

スピーチ原稿、アドバイスシート、振り返りシート

(3) 本時の展開

学習活動	時間	学習活動への支援	評価項目(評価方法)
あいさつ	5 分	英語でのあいさつの後、クリスマスの歌を聞き和やかな雰囲気作りに努める。	
スピーチ発表の練習をする。	10 分	自分らしさを大切にしたスピーチ発表ができるように、表現方法を工夫するように伝える。	
一人一人が全体の前でスピーチ発表する。	25 分	聞き手の感動や共感を呼べるように全身で伝えたいことを表現できるように伝える。 ・アドバイスシートで、発表者の考えや意見、気持ちに注目して評価できるようにする。	自分の思いを入れながら何とか聞き手に伝えようと自分らしく自信をもって発表し、その発表を真剣に聞き、適切に評価することができる。【表現】(観察)
本時のまとめをする。	10 分	振り返りシートを用いて、本時のスピーチを反省し、自分の思いを入れることや自分らしさを大切にするを確認できるようにする。 ・本時の活動について JTE と ALT が気付いた点についてコメントし、スピーチに対する今後の意欲付けとなるようにする。	